



にいざ 歴民だより

大変お待たせしました！！

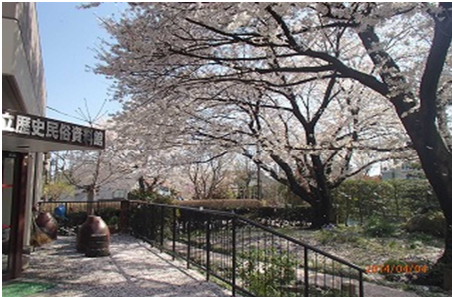
4月から専門職員を迎え、新体制での「第一歩」を踏み出しました！・・・と書いてはみたものの、気付けば既に半年も経ちました。

しかし、この間は、歴史民俗資料館&「にいざ歴民だより」にとってまさに「雌伏の時」！4月から配属された学芸員の指導のもと、資料の入れ替えや展示の見直しを行っています。

時系列にまとめられた展示を心がけ、より見やすくわかりやすくをテーマに作業を進めています！

展示の入れ替え等で見学に多少のご不便をおかけいたしますが、歴民にぜひ足をお運びください。

お待ちしております！



春は桜、秋は紅葉がきれい！

展示品を見やすくしました！

近年訪れる方々からの展示物に関してのご要望が特に多かった「展示物を屈んで見るのは疲れるね…」「雑に置いてある感じ…」と言われていたガラスケース内の展示の仕方を工夫しました。

今までの目線を下げた状態のままの「直置き目線の展示」から身体を屈まないで見られるようにした「立ち目線」での展示方法にしたものです。

当館は公立の歴史民俗資料館として、昭和56年に開館した県内で一番古い施設です。

そのころ盛んに導入されていた低い台に直に置く展示方法を当館も取り入れていたので、大きく屈まないで展示物や解説文が見えにくい状態でした。その点を解消しました。(裏に続く)



* 立ったまま見られて楽です



旧石器時代の展示



縄文時代の展示



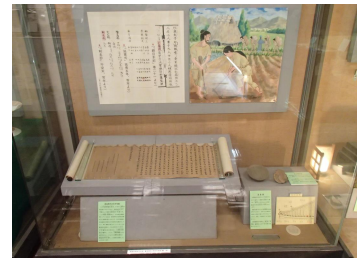
弥生時代の展示



・細部の文様も届まずに見えます



・大形の土器は直置きです



・文献史料も見やすくなりました

郷土史講座「老中松平伊豆守と島原の乱」を開催しました！

野火止用水を開削し、野火止の地に潤いをもたらした「知恵伊豆」こと松平伊豆守信綱。

三代将軍家光の懐刀であった信綱が、川越藩主となり、新座の地を統治するきっかけが「島原の乱」であったことをご存知でしょうか？

今回は、その「島原の乱」（現在は「島原・天草一揆」と呼称するそうですが・・・）における、幕府側総大将としての信綱の活躍や「日本史上最大の農民一揆」「幕末以前では最後の内戦」と云われたこの戦を外国はどう見ていたのかを、幕藩体制及び17世紀の幕府の外交を研究されている、日本大学通信教育部准教授の鍋本由徳氏をお招きして、9月10日（土）に講義をして頂きました。

募集受け付け開始から2日で定員に達するほど、皆さんの関心が高かったこの講座。

毎日多くの学生を前に教壇に立つ鍋本氏。当日は国内資料のみならず「オランダ商館長日記」など、外国の資料を活用しつつ、誰にでもわかりやすいお話しで、約100分という時間が短く感じられるほどでした。



歩く・見る・聞く

園庭の花

資料館の庭には、たくさんのお花が咲いています。その中の一つシユウメイギク（秋明菊）を紹介します。

別名はキフネギク（貴船菊）で名前にキクが付いていますが、キクの仲間ではなくアネモネの仲間です。多年草で開花期は、秋、高く伸びた花茎の上に大柄な花をつけます。花の色は、赤紫や白で多数の花弁状のガクヘンが目立ちますが、本物の花卉ではありません。

